

毎週日曜発行
2019 9/1

こども新聞 週刊がほピョンプレス

河北新報社 TEL.022-211-1111(月曜から金曜)



海と日本 プロジェクト 南三陸

三陸の海と山々に囲まれた宮城県南三陸町。東日本大震災を乗り越えて人々は恵みをもたらす自然との共生に取り組み、豊かな環境が世界的に評価されているよ。かほピョンは8月5、6日、日本財団の「海と日本プロジェクトinみやぎ」に参加し、県内の小学生22人と南三陸の自然について学んだよ。

南三陸町の志津川湾は北から流れ込む寒流と南からの暖流が混ざり、冷たい海と暖かい海で育つ藻や海草が共存する世界でも珍しい海域。



志津川湾で豊かな自然学ぶ

藻が茂る海の森は魚や貝などのえさ場やすみかとなり、500種類以上の生き物を育んでいます。山に降った雨も栄養分を多く含んで川から海に流

れ込み、さらに海を豊かにします。



船に乗って村岡さんから志津川湾の環境について話を聞く子どもたち＝8月6日



海藻をえさとする国の天然記念物コクガンなど水鳥も多く訪れます。水鳥の生息地として国際的に大切な湿地を守る「ラムサール条約」の対象地に2018年、海藻藻場として国内で初めて指定されました。小学生たちは戸倉地区の漁業村岡賢一さん(69)



の船に乗り、カキやホヤの養殖いかだを見学しました。村岡さんは「以前は養殖いかだが多すぎて、環境への負担が重かった。震災後に地区のいかだを3分の1に減らしたら、カキの質が良くなった」と説明。環境を大事にした養殖業への国際認証を、日本で初めて取得したそうです。

同行した町自然環境活用センター研究員阿部拓三さん(45)は「志津川湾の環境を守るため、森と里、海のつながりの中で人々がさまざまな取り組みをしていると知ってほしい」と呼び掛けました。

岩沼市岩沼南小5年三浦孝介君(10)は「里も川も海も一つの生態系と分かった。海を守り頑張る漁師さんを見て、魚を大事に食べようと思う」と話しました。

このほか、森の間伐や「海藻押し葉」作りもやったよ。8面も見てね!

森、里、海 大切に未来へ

きょうの紙面

2 サイエンス

3 3分チャレンジ

4・5

いいね 小学校

6 英語

7 かほくワークシート

8 海の恵み満喫

今週の注目ニュース

◇6日(金) 京アニの新作映画公開(～26日)
放火事件でたくさんの方が亡くなった京都アニメーションの新作映画「ヴァイオレット・エヴァーガーデン外伝—永遠と自動手記人形」が、全国の映画館で公開されるよ。

◇7日(土) 全国豊かな海づくり大会(～8日、秋田市)
漁業の発展や環境を守る大切さを訴えるため毎年、全国の都道府県が持ち回りで開く大会だよ。8日の式典と魚の放流には、天皇陛下も参加されるんだ。